



# MUSASHINO *for* TOMORROW

Vol.146  
Feb 2025

特別対談

自分らしく、主体的に——  
“鏡ワールド”全開で掴んだ金メダル

鏡 優翔 | パリ五輪レスリング女子76kg級金メダリスト × 福井直昭 | 武蔵野音楽大学学長



特別  
対談

## 自分らしく、主体的に—— “鏡ワールド”全開で掴んだ金メダル

かがみ ゆう か  
**鏡 優翔** パリ五輪レスリング  
女子76kg級  
金メダリスト

× **福井直昭** 武蔵野  
音楽大学  
学長

100年ぶりの開催となった花の都・パリでのオリンピック。大会最終日にレスリング女子最重量級で日本人初の優勝、日本レスリング過去最多の8個目の金メダルをもたらしたのが鏡 優翔選手でした。帰国後も持ち前の明るい性格でメディアに引っ張りだこの鏡選手と、無類の格闘技好きでレスリングの大会にもしばしば顔を出す福井直昭学長。そんなお二人による、鏡選手と同世代の学生に重要な示唆を与える充実した内容のスペシャルトークを、存分にお楽しみください。(2024年10月24日実施)

### 誰も成し得なかった最重量級金メダル

**福井** まずは先日(五輪日本選手団報告会)のオリジナルTシャツプレゼント、ありがとうございました!たった1つの景品、しかも鏡さん自ら私の抽選番号を言っていたらいい。

**鏡** 7が好きなので、77と!

**福井** 元々ファンだったのですが、あの時の鏡さんの引きの強さ、

あっ私にとってですが(笑)、それが今回の対談のオファーへの決定打になりました。

**鏡** Tシャツのおかげで(笑)

**福井** 「幸福の黄色いTシャツ」ですね(笑)。さて、約2か月経ちましたが、改めまして、レスリング女子最重量級で日本史上初の五輪金メダルを獲得された時の心境をお聞かせください。

**鏡** “初めて”という言葉が好きなので、誰も成し得なかったことを達成することができたのはすごく嬉しかったです!最重量級は勝てないと言われていたから、「見たか!」という気持ちです。

**福井** ある経済学者の言葉で「人生における大きな喜びは、『君にはできない』と世間が言





うことをやってのけることである」とあるのですが、そんな心境ですね。

**鏡** 五輪ならではの独特な雰囲気でももちろん緊張もしましたが「今この場所にいるからこそ味わえる空気だ」と切り替えて、とことん楽しみました。

**福井** レベルが違う話かもしれないませんが、私も学

生に対し「本番で大きな緊張を感じている時は『この緊張を味わうために、これまで練習してきたんでしょ?』と自分に言い聞かせよう」と指導しています。緊張したとおっしゃいましたが、決勝の相手のブレーズ選手を見た時、自分の方が練習してきていると直感したとか?

**鏡** 何かで言っちゃったかもしれない…(笑)

**福井** 言っちゃってます(笑)。

**鏡** 顔、顔つきで分かるんです。

**福井** 鏡さんの内なる自信というか、自己肯定感もあったのでは?

**鏡** はい、そうです。そこに至る準備を、かなりしてきましたから。大切にしているのは「大きな目標から逆算して日々の練習に落とし込むこと」です。東洋大学入学前から、卒業後にパリ五輪があることは意識していました。「何年何月にはこの目標を達成する」と金メダルまでの道のりを書き出して、そこに向かう上で今の自分に足りないものを普段の練習から一つずつ確認していきました。

**福井** 計画がない目標は、ただの願い事でももんね。甲子園優勝時の「青春って、すごく密なので」の名言でも有名な、仙台育英高校の須江航監督と先月お話しをさせていただいたんですが、須江監督も「日本一からの招待」というスローガンを掲げています。つまり、全ての取り組みが日本一に相応しいレベルに到達した時、日本一から招かれるという考え方で、まさに、鏡さんが今話されたことと重なります。

**鏡** うんうん。

## 大怪我は金メダルを取るための必然的な試練

**福井** しかし、そのような五輪金メダルを目標とした道程の中で、大怪我を何回もされました。2022年末は大胸筋断裂、今年の3月は肋骨骨折。さらに5月は右膝副靭帯損傷。

**鏡** それらの怪我にも必ず意味があると考え、例えばウエイトトレーニングや心肺機能を高めるトレーニングに励みました。今考えると、その期間は本当に充実していました。だから、怪我は金メダルを取るための必然的な試練だったのかもしれない。悔しい思いにとらわれることなく、目標への正しい道がブレないよう意識し続けてきたからこそ、乗り越えられたのだと思います。

**福井** 「苦しいから逃げるのではなく、逃げるから苦しくなる」というやつですね。でも五輪直前の膝靭帯損傷はタックルが持ち味の鏡さんにとって、きわめて厳しい状況だったのではないのでしょうか。

**鏡** 膝から音が鳴って「切れたな」という感覚があり、瞬間的にヤバいと思いましたね。ただ「出場できないかも…」みたいな絶望感はなく、むしろ大会までの計画をどう変更しようかと冷静に頭が働いたんです。落ち込んでいる暇はないと。むしろその前の肋骨骨折の時の方が、ずっときつかったです。2週間は何もできなかった。息も上げられなかったんです。



**福井** 切り替えと受け入れの早さ。鏡さんの発言からは、常にポジティブな思考回路が見て取れます。怪我の話ばかりしてなんですが(笑)、実は五輪中にも負傷していたんですよ。

**鏡** それも1回戦が始まって1分ちょっとくらいの時。タックルしてきた相手の頭が、自分の右目辺りにぶつかって。めちゃくちゃ痛かったんですよ。2回戦から準決勝まで3時間くらい時間があつたから「試合会場近くで寝る」ってなったんですけど、痛すぎてもう眠れないんです。しかも正面しか見えなくなって、これはヤバイぞと。でもやるしかないので。





▲富山英明 日本レスリング協会会長(84年ロス五輪男子レスリング金メダリスト・本学園評議員)「とても性格の良い“明るく、優しく、力強い、世界一のヒマワリ娘”だね!」

**福井** 帰国後のエピソードで好きなのが「骨折していたら、これもひとつのストーリーになるな、とひそかに思いつつ病院に行ったら、本当に骨折してた」っていうやつです(笑)。バランスのとれた体格と優れた身体能力を評価されることの多い鏡さんですが、今お聞きしたようなメンタルの強さこそ、アスリートとしての最大の武器なのかもしれませんね。メンタル関連で言うと、“笑顔”をモットーにされていると。

**鏡** かなり大事ですね。笑うことが負の連鎖を断ち切る方法だと思っているので。なるべく笑いが起きるように行動しています。

**福井** それは“あえて”の行動ではなく、御性格からくるナチュラルなものだと数々のテレビ御出演から拝察いたします(笑)。かく言う私も、とても真面目な、なんなら暗い話題の会議時こそ、絶対不謹慎だろと思いつつも、むしろこういう時こそ面白いと笑わせにかかります。

**鏡** それ、私もです!真面目な講演とかでも、笑わせにいきます。大概、“微笑”で終わってしまふんですけど(笑)。

**福井** 鏡さんだから言うわけではないですが、人間関係は“鏡”になって。鏡は先に笑わない、自分が先に笑えっていう意味で。

**鏡** なるほど。

**福井** トレードマークのヒマワリのような笑顔と鍛え上げられた肉体——「性格は顔に出る、生活は体型に出る」という格言がありますが、まさに鏡さんのことですね。

**鏡** ありがとうございます!

## タックルに入る時に光が見える

**福井** 国内では女子の最重量級選手は少なく、世界レベルを想定した練習相手はなかなか見つからなかったのでは?

**鏡** 体格の大きい男子選手と練習してきました。男子選手のパワーやスピードに慣れ、それを上回ってやるくらいの気持ちでトレーニングを積めたことが自信に繋がりました。小さい頃から「タック

ルで勝て」と言われて、何百本、何千本とタックルに入る練習を積み重ねてきました。だから、どこかで必ず自分のタックルが決まるはずだと、冷静な気持ちで試合に臨めたと、大舞台でそれを実現できたことはすごく嬉しかったです。

**福井** 「タックルに入る時に光が見えるようになった」という発言もありました。

**鏡** “光が見える”というのは、「ここで入れ!」「今いけ!」って言われる感覚です。「ピカッ!」っていう言葉よりも短い時間、ほんの一瞬、相手の隙が見えるんです。

**福井** そういう話、大好物です。自分には絶対経験できないことですから…当たり前だけど(笑)。昔、「ボールが止まって見える」と語った野球選手がいましたが、それに似た、まさに天才ならではのゾーン状態ですね。もちろん、圧倒的な練習量が礎にあるのは確かですが。

**鏡** レスリング関係者と色々話すと、私は「相手がこうくるな」という読みが他の人より鋭いようです。こういう感覚を持つてると意外と私だけなのかなと、大学生を教えている時などに感じます。

**福井** 野球の話が出た所で…ちょっと話題が逸れますが、甲子園球場でファーストピッチ(始球式)をされましたよね。こちらは緊張したのでは(笑)?

**鏡** 練習ではうまく投げられたんですが(笑)。トラッキー(阪神タイガースのマスコットキャラクター)あたりに投げるって聞いていたのに、サプライズで大ファンの木浪聖也選手がバッター、坂本誠志郎選手がキャッチャーをしてくださって、それでもう緊張しちゃって(笑)。

**福井** ということで、既にお持ちかもしれませんが、よかったらこれを…(とポケットから阪神・木浪選手のトレーディングカードを取り出す)。

**鏡** え、え、いいんですか、これ?ありがとうございます!ヤバあ!嬉しい。

**福井** そんなに喜んでいただけて、こちらが嬉しいです。



▲始球式で打席に立ってくださった阪神・木浪選手のカードのプレゼント



▲鏡選手Tシャツが福井学長に当たったレスリング日本選手団報告会にて  
(2024年9月27日 明治記念館)

## スポーツの意義を伝える

**福井** 大学の広報誌なので、少し大学関連のお話を。現在、サントリービバレッジに所属すると共に、東洋大の大学院1年次に在学されています。

**鏡** 引退後にどのような職業に就くかなどを模索するためにも、入学しました。前期はオリンピックに向けて集中したので全然通えなかったのですが、後期からはこの金メダルの価値を高めるためにも、徐々に通っています。

**福井** 大学院では、どのような研究を？

**鏡** これまで五輪で金メダルを取ることに人生をかけてきたので、今後こんなに一生懸命になれることがあるのかな、燃え尽き症候群になっちゃうのかなと、今少し不安なんです。でも、金メダルは誰もが取れることじゃないので、この経験を何も活かさなかったら勿体ない。だから、レスリングの普及をしながら、スポーツの持つ意義といったものも伝えていきたいと考えています。亡くなった祖父の話なのですが、ある難病にかかって杖をついていたのに、私の試合を応援しに来ってなった時に、杖要らずでスタスタ歩くようになったんですよ。世界選手権の時も肺炎気味だったのですが、私が優勝した瞬間に治っちゃったんです。帰国後すぐ会いに行ったら、感情も顔に出るぐらいめっちゃ元気で。やっぱりスポーツには何かそういう効果があると感じました。高齢化がさらに進む今後、活力ある健全な社会の形成に対するスポーツの意義を、自らの経験も含めて研究していきます。

**福井** AIや科学技術の発達で利便性が向上する反面、ストレスを感じることも増大している現代社会においてこそ、人間の身体的・精神的な欲求に応える世界共通の文化であるスポーツは、ますます大きな意義を持つてくると思います。きっと、音楽も同じです。是非スポーツ振興を通し、社会に貢献していただくことを期待します。

## かわいく、強く、かっこよく

**福井** さて、少し時間を巻き戻します。そもそも、東洋大学を選ばれたのはなぜですか。

**鏡** 高校までJOCのエリートアカデミーというちょっと厳しいところで過ごしたのですが、自分自身が縛られるのがあまり得意じゃなくて。それで、自分らしさを出しながら頑張れる場所だと感じた東洋大学を選びました。オシャレも好きなので、髪の毛を染めたり、ネイルをしたりして。そういうことがダメなレスリング部は沢山あるので。でも、これで弱かったら「弱いくせにそんなことやってる」ってなっちゃうので、自分に良い意味でのプレッシャーをかけてきました。

**福井** その付近は、(前回学長対談の)慶應義塾高校野球部の「エンジョイ・ベースボール」にも通じるものもありますね。その代わり、そういう環境では主体性が重んじられる。自分の意志や判断に基づいて行動しなければいけないですよね。責任を伴うというか。

**鏡** そうなんですよ！

**福井** オシャレといえば、フランス国旗のトリコロールに染めたヘアスタイルや、「カワイイ♡」と書き込まれたマウスピースが話題となりました。



▲日本選手団最後の大会通算20個目となる金メダルを持って閉会式で(2024年8月11日)

**鏡** 福井先生から責任の話が出ましたが、色んな強くなる方法があるんじゃないかって。(マウスピースに書き込むことで)自分が「かわいい！」で応援されたら頑張れるとか、オシャレしながら、練習

や戦う時は切り替えるとか。だから、強くなるこういう方法もあるってことを証明できたと思います。でも五輪前、NHKの特集が何かで「カワイイ♡」に関する発言をしたら、SNSに「鏡は、あの発言で負けると思う。外国人のアドレナリンをなめたらいかん」って書かれたんですよ。夜遅くだったんですが、その投稿を見た瞬間「こんな一生懸命練習しているのに、何でそんなこと言う！」って悔しくて泣きながら、気が付いたら腕立て100回やって。その後腹筋100回やってまだまだ足りないと思って、また腕立て100回やって、ようやく「寝る！」って(笑)。でも優勝したら、その投稿をした人から「ぶちのめされました。おめでとう。カワイいですよ」ってきたんです。

**福井** 伏線回収というか、SNS上でもドラマを紡いだという(笑)。そういえば私、昨日歯科医院に行ったのですが、鏡さんに敬意を表し、歯に「カワイイ」って書いてもらおうと一瞬思いました(笑)。

**鏡** 是非やって欲しかったですけど(笑)。レスリングは汗をかくし相手と接触もするので、陸上選手のようにメイクやアクセサリをして出られない。でも、だから何もしないではなくて、邪魔にならない程度に、髪の毛の色や、落ちないリップ・取れないマツエクとかで美しく見えるようにしています。それが競技自体のアピールになればなど。

**福井** 五輪を目指した学部時代の大学生活のルーティンはどんな感じだったですか？音大生が興味あるところですよ。

**鏡** 午前中の授業のない時間にトレーニングをし、午後の3、4限あたりに授業を入れて。5限後から練習となると18時からなんです。で、終わるのが21時くらいで、そこからご飯を作ったり、洗濯となると1日が終わるのは結構遅めになります。

**福井** 音大生で真面目に練習している子も、そんな感じですよ。人間1日24時間しかないって制約があるからこそ、頑張りますよね。日本の大学は、昨今出席が厳しいはずですけど、東洋大学さんは？

**鏡** 厳しいです。

**福井** オリンピック候補選手だから緩和とかはないですよね？

**鏡** いや、ないですね。

**福井** 3分の2出席しなければ単位が出ない？

**鏡** はい、そうです、そうです。欠席は4回まで…授業が詰まって



▲ベートーヴェンホールの由緒あるパイプオルガンを試演



▲福井学長「マット上の勇姿と素顔の鏡さん、どちらもとても魅力的で、一層ファンになりました」

る1、2年次は、ちょうどコロナ禍ゆえのオンライン授業だったので、移動時間等を考えるとある意味ラッキーでした。

**福井** 学業の方はどうでした？

**鏡** 結構ギリギリを攻めてました(笑)。勉強はやれって言われたら結構できるし、頑張ったら良い成績は取れると思うんですが。「今日は午後の練習のために、どうしても身体は休めたい」という時は、そちらを優先して欠席したりしました。

**福井** 知人の有名人棋士も、大学時代の単位取得にはコスパを重視したと(笑)。でも、トーナメントで勝ち進むと、そういう時に限って出席がギリギリな授業の曜日に次の対局が入ったりして、勝って嬉しいんだが悲しいんだかって思ったと言っていました(笑)。

## 有言実行の意味

**福井** 「五輪後の取材でよく『4年後は？』って聞かれるけど、『そんなに簡単に言わないで！』って思っちゃう」というお話は、おっしゃる通りだと思います。

**鏡** 期待してもらえるのはすごく有難いのですが、パリに出ると決めてから必死で積み上げてきた結果が、今回の金メダル。「じゃ、次は2連覇ですね」と言われると、「オリンピック連覇を目標にしたわけではない。今、この金メダルを見てよ！」と思ってしまいます。仮に4年後を狙うとしたら、みんな私を基準にやってくと思うので、今まで以上の、もっともっと強い覚悟が必要なんです。それが定まらない限り、容易に“次”を口にすることはできません。やっぱり私は“有言実行”をしたいタイプなので、簡単に言いたくない。

**福井** 発言したことには責任を持ち、必ず実践すること。それが“有言実行”ですものね。それが、たとえ自分を鼓舞する意味であったとしても。

**鏡** 差し上げた黄色いTシャツにも、オリンピック前に作ったのに「パリオリンピックゴールドメダリスト」って書いててね(笑)。

**福井** そうそう！有言実行Tシャツ。ついでに、なぜか隅っこにふじなみあかり藤波朱理選手のサインも入ってるという(笑)。

**鏡** そう、私がサインしてる時「じゃあ(藤波)朱理も、こっそりこころへんに書いたら？」って(笑)。



▲鏡選手「福井先生の動画を拝見しましたが、先生もピアノを前にした時の表情がお会いしてる時と全然違って、かっこいいです！」

**福井** もうバラエティを全制覇したんじゃないかっていうくらいの連日にわたるテレビ出演ですが、大体、藤波選手と共演してますよね？

**鏡** 会社の広報を通してオファーが来るんですが、その依頼文の中に大概「藤波選手と」って(笑)。コンビ性がいいんですね？

**福井** 最高ですよ！番組で藤波選手が「自分は減量があるほうなので、試合前はあんまりいっぱい食べられないんですけど、鏡先輩はホントに容赦なくいっぱい食べます」と不満を告白して、鏡さんが目の前で見せつけるようにスイーツやラーメンを食べるVTRが公開されてましたが(笑)。

**鏡** 確かに、朱理は私と3cmしか変わらないのに20kg以上階級が低いので減量が大変なんですけど、「優翔さん普通に食べてください！」みたいに言われたので遠慮しないで食べてて動画を撮らせてたら、それをテレビで流されて「見せつけるように食べた」って言われちゃって(笑)。

**福井** その真相の方が、もっと面白い(笑)。先に金メダルを獲った藤波選手が、同じ部屋で浮かれてたっていうのは？

**鏡** なんかもう、めっちゃ浮かれてるんですよ(笑)。でも、お互いに本当に性格が分かった上での行動なんです。なので、私も一応「おい！」とか言いながら(笑)、朱理があえていつも通りにしてくれてるなど。

**福井** でも、鏡さんの試合の当日は、一緒に焼きたてパンとコーヒーの朝食とするはずが、約束の場所にいなかったという(笑)。

**鏡** それも朱理が言いだした毎朝のルーティンですよ(笑)。朱理の試合前もやりました。それが、いないし連絡来ないと思ったら、まさかの爆睡でしたね(笑)。

**福井** 一流アスリート同士の友情が感動的でもあり、しかも面白い！

## 目標から逆算して日々の練習を

**福井** 最後に、同年代の武蔵野の学生に対して、メッセージをお願いします。

**鏡** オリンピック金メダルを目指したから偉いとか、すごいとかそういうことではない。例えばレスリングで言ったら、オリンピックで優勝したいっていうことも、小さな大会でも優勝したいっていうことも、また1勝したい、あるいは1ポイントでも取りたいっていうことも、目標を掲げるという意味では全部一緒だと思います。目標の大小ではなく、今自分が掲げた目標に対して、叶えようと努力することが大切だと思っています。

**福井** 冒頭の「目標から逆算して日々の練習に落とし込む」に回帰しますね。達成するまでの道筋を明確にすることで、やる気が向上し、ブレない行動ができるようになると思います。

**鏡** あまり音楽は詳しくないですけど、例えば「今日はここまで1回も間違えずに弾ききるぞ」とか、そういう本当に細かな目標でいいので、それに向かってやる。それが達成できようができなかりょうが、それに向かって頑張った努力って絶対無駄じゃないんですよ。何かに必ず活きるのです。

**福井** 学生たちには、鏡さんの言葉を導きの光として、勇気をもって道を歩んでほしいと思います。長時間、ありがとうございました！

**鏡** こちらこそありがとうございました！

▼トレードマークのヒマワリのイラスト入り色紙を持って図書館で記念撮影。「大学時代は図書館にはほとんど行かなかったです(笑)」



### 鏡 優翔(かがみ・ゆうか)

2001年9月14日生まれ。全国少年少女選手権5度優勝。JOC エリートアカデミーへ進み、17～19年にインターハイ3連覇を達成。19年の全日本選手権では女子68kg級で東京2020オリンピックの代表入りを目指したが、初戦で敗れて代表切符獲得ならず。20年全日本選手権では女子76kg級で優勝。21年全日本選手権と22年全日本選抜選手権でも優勝し世界選手権に初出場、同女子76kg級で銅メダル獲得。23年世界選手権では女子76kg級で初の世界一に。24年パリ2024オリンピック女子76kg級で日本史上初となる女子最重量級でのオリンピック金メダル獲得。24年3月東洋大学卒業、現在、同大学情報学研究科博士前期課程1年次在学中。サントリーピバレッジソリューション(株)所属。24年紫綬褒章受章。栃木県民栄誉賞、山形県民栄誉賞他受賞。

# 武蔵野でのさまざまな出逢いと経験を糧に

加藤智浩 | 東京交響楽団 ホルン奏者

山口雅之 | 日本フィルハーモニー交響楽団 コントラバス奏者

現在、プロのオーケストラ団員として活躍する加藤智浩さんと山口雅之さん。武蔵野でのさまざまな出逢いや経験が、ご自身の芸術観の礎となったと語っていただきました。キャリアを着実に積み重ねている両氏へのインタビューは、今まさに将来に向けて切磋琢磨している学生たちへの力強いメッセージとなることでしょう。(2024年11月5日インタビュー)

Tomohiro Kato

加藤智浩 Tomohiro Kato

武蔵野音楽大学卒業。第26回ヤマハ管楽器新人演奏会出演。神奈川フィルハーモニー管弦楽団(期間契約団員)、シエナウインドオーケストラを経て現職。これまでにホルンを島方晴康、須山芳博、丸山勉、日高剛の各氏に、室内楽を白尾隆、吉岡アカリの両氏に師事。



© N. Ikegami / TSO

音楽歴、自身の楽器を志した理由や、本学とのご関係をお聞かせください。

**加藤** 6歳の時にピアノを習い始め、小学校ではクラリネットやフルートなどを経験し、その頃から管楽器のプロ奏者になるという夢を持っていました。中学1年生から現在の専門であるホルンを学び始め、その後、当時習っていた先生に故伊藤泰世先生を紹介いただき、武蔵野を受験しました。

卒業後プロの楽団に入団するまでに大変だったこと、苦労されたことは？

**加藤** 現在在籍する東京交響楽団に合格するまでに、本当にたくさんのオーディションを受けました。合格に至らないことも多く、自信をなくす日もありました。が、夢を諦めず挑戦し続けた結果、ありがたいご縁のもと合格をいただくことができました。

武蔵野音楽大学での一番の思い出、特に印象に残っていることはありますか？

**加藤** 素晴らしい先生方はもちろん、活躍されている先輩・後輩の存在、個性豊かな同級生と過ごした時間すべてが良い思い出で



© T. Tairadate / TSO

す。既にプロの現場で活躍をされている先輩方の音色を間近で聴いた時の感動は今でも印象に残っています。いろんなお話を聞かせていただいたことも大変貴重な機会であり、今に繋がっていますね。

学生時代に一番熱心に取り組んだことがあれば教えてください。

**加藤** とにかくさまざまなジャンルの音楽を聴くようにしていました。コンサートに行ったり、CDもたくさん購入しましたね。大学図書館もよく利用しました。大学の定期公演はもちろん、グループコンサートにも楽器・学年を問わず行き、同世代の演奏から多くの事を学びました。



▲東京交響楽団公演(2023年7月) 指揮:ジョナサン・ノット © T. Tairadate / TSO

オーケストラでの演奏とソロでの演奏の違いがあれば教えてください。

**加藤** オーケストラでは、それぞれのシーンにおいて自分の役回りが何なのかを意識して演奏することが要求されます。他の楽器との調和も必要なため、ソロよりもさらにダイナミクスや色彩感等の引き出しを持って臨もうと常に考えています。

今後の活動と抱負、後輩である在学生のみなさんへメッセージをお願いします。

**加藤** 枠にとらわれず、これからも自身の目指す表現を追求していきたいと思っています。自分の限界を決めつけることのないよう、さまざまな視点から捉え、新たな発想を持ち続けたいです。大学4年間はあっという間ですが、卒業後も大学で繋がった仲間との交流は大きな財産となります。多くの人と関わりを持ち、互いにインスピレーションを与え合い、充実した学生生活を送ってください！



## 山口雅之 Masayuki Yamaguchi

1996年長崎県長崎市出身。6歳よりピアノ、16歳からコントラバスを始める。長崎県立長崎西高等学校卒業。武蔵野音楽大学卒業、同大学別科修了。平成28～30年度福井直秋記念奨学金給費奨学生。第21回長江杯国際音楽コンクール弦楽器部門大学の部第2位(1位なし)入賞。第20回演奏家コンクール弦楽器部門大学生の部入選。これまでにコントラバスを亀子政孝、高山智仁の両氏に師事。2019年より現職。



©井村重人

# Masayuki Yamaguchi

印象深い共演者、演奏会等があれば教えてください。

**山口** 入団前にエキストラとして参加させていただいた2019年の日フィルのヨーロッパツアーです。2週間でフィンランドやドイツ、オーストリア等を回るハードスケジュールでしたが、フィンランド人指揮者のインキネン氏のもとでシベリウスなどの作品を演奏したことは良い思い出です。ツアー中盤ではウィーンの楽友協会ホールで演奏する機会もありました。有名な黄金のホールに足を踏み入れた時は感無量でしたね。作曲家たちが実際に過ごした街を訪れた経験は、音楽への理解や親しみがより強くなるきっかけになりました。

音楽歴、自身の楽器を志した理由や、本学とのご関係をお聞かせください。

**山口** 在籍していた中学校では毎年秋に合唱コンクールがあるのですが、幼少期の経験から、2年生の時ピアノ伴奏をすることになりました。それがきっかけで、また少しずつピアノ(特にショパン)に熱中していきました。その後、高校の入学式で聴いた吹奏楽部の演奏、中でも特にコントラバスの姿に惹かれ、そのまま入部しました。最初は見た目からでしたが、コントラバスの役割や面白さを実感するたび、もっと専門的に学んでみたいと思い、武蔵野へ入学しました。

卒業後プロの楽団に入団するまでに大変だったこと、苦労されたことは？

**山口** コントラバスのオーディションでは、基本的にソロとオーケストラスタディの課題が出されます。ソロでは作品にふさわしい音色や音楽作りを要求されるので、何度も録音しながら練習しましたね。オーケストラスタディでは、他の楽器の演奏をどれだけ理解しているかが問われます。自分の課題と地道に向き合っていくのは本当に大変でした。

武蔵野音楽大学での一番の思い出、特に印象に残っていることはありますか？

**山口** 1、2年生の時は入間キャンパスの学生寮に入っていたので、その時に一緒だった同級生や先輩後輩たちと音楽について語り合ったことは、今でも大きな財産です。また、2018年にクレマー先生率いるウィンドアンサンブルのメンバーとして、米・シカゴの『ミッド・ウェストクリニック』に参加できたこともとても貴重な体験でした。現地の方からスタンディングオベーションをいただいた時は嬉しかったですね。

©山口 敦



▲ウィーン楽友協会黄金のホールにて楽団員と共に。最手前が山口さん。

武蔵野音楽大学での学びの中で、現在活かされていることはありますか？

**山口** 授業やレッスンなどでの学びや経験は、今の音楽家としての自分の根幹になっています。同世代の音楽家と一緒に学ぶことで、いろいろな価値観や考え方を共有、時に議論し、自分の音楽性や人間性を深めることができたように思います。

今後の活動と抱負、後輩である在学生のみなさんへメッセージをお願いします。

**山口** 今後はさまざまな楽曲に取り組み、「この人に任せたら安心だな」と思ってもらえるような奏者になりたいです。音楽だけでなくいろいろな芸術に触れて、より視野の広い芸術家になりたいですね。

大学生活は、ある程度自由に自分のために時間を使える時期です。ぼーっとしていると本当にあっという間に過ぎ去ってしまいます。学生のみなさんは、とにかく後悔のないよう、たくさん挑戦して自分の可能性をどんどん広げていってください！

## 「夜のトボス」としてのシンコペーション

西洋クラシック音楽には、さまざまな慣用表現＝トボスがある。そのトボスのひとつとして、「シンコペーション」が挙げられる。ヴァーグナー（1813-83）の楽劇《トリスタンとイゾルデ》第2幕第2場、トリスタンとイゾルデによる長大な愛の二重唱の中間部分で、ふたりは「おお、降りてこい、夜の帳よ」と夜を讃える。官能的かつ幻想的な伴奏に用いられる音型こそ、シンコペーションのリズムである（譜例1）。

言うまでもなく、シンコペーションとは拍節をずらし、拍節感をぼかす手法である。つまり、シンコペーション・リズムの反復は暗くなって視界がぼけるメタファーであり、ひいては「夜のトボス」となる。シューベルト（1797-1828）の歌曲〈さすらい人の夜の歌〉D.768でもメンデルスゾーン（1809-47）の歌曲〈夜の歌〉Op.71-6でも、シンコペーション・リズムの反復が夜を暗示する。夜の讃美は基本的にロマン主義の特徴となるが、モーツァルト（1756-91）の歌劇《魔笛》第1幕における夜の女王の最初の登場場面がシンコペーションのリズムで始まることはなかなか意味深い。

ともあれ「夜のトボス」は、器楽音楽にも取り入れられていく。ブルックナー（1824-96）の交響曲第8番の第3楽章冒頭のリズムは、先に挙げた《トリスタン》の事例とそっくりで、だとすれば、この緩徐楽章に「夜」のイメージを読み取らないわけ

稲田隆之（本学音楽学教授）

にはいかない。そして、一日の終わりである「夜」には、やがて、人生の終わりである「死」が投影されることになる。R.シュトラウス（1864-1949）の交響詩《死と変容》における冒頭のシンコペーション・リズムは、楽譜に付された標題を確認するまでもなく、「死」を暗示している（譜例2）。

もちろん、西洋音楽におけるすべてのシンコペーション・リズムが「夜のトボス」というわけではない。単なる伴奏音型なのか、それとも、何かをぼかしているメタファーなのか。どう読み解くべきかは、われわれが西洋音楽史をどう学び、いかに多くの作品を知るか、にかかっている。



譜例1 《トリスタンとイゾルデ》第2幕第2場よりヴィオラ・パートのみ



譜例2 《死と変容》冒頭より第2ヴァイオリンとヴィオラ・パートのみ

## 楽器ミュージアムレター

学芸員課程履修学生による  
楽器ミュージアムイベント

11月に行われたミュージズフェスティバルで、楽器ミュージアムの教育イベントが、新たに二つ開催されました。ともに学芸員課程を履修している学生たちによるもので、一つは、館内に展示されている何点かの楽器についての簡単な実演や来館者の体験を交えた「見学ガイドツアー」、もう一つは、身近な材料で手軽に楽器を作る「ワークショップ」です。来館者たちは、学生たちがそれぞれに工夫をこらした楽器解説に耳を傾け、珍しい楽器の体験を楽しんでいらっしゃいました。また、手作り楽器のワークショップでは、親子で参加された方も多くみられました。この教育イベントのおかげで、ミュージズフェスティバ



ル中の楽器ミュージアムの来館者数は、前年の倍以上となり、大盛況でした。

このような教育普及活動は、資料の収集や保存、展示・公開、調査研究と並び、重要な博物館機能の一つと言えます。学芸員課程では、これらの機能や使命について、多方面から学んでいますが、その集大成として、教育普及活動の実際を体験してもらいました。来館者の立場に立って、事前に周到な準備を行うことの大切さ、緊張しながらも来館者とのコミュニケーションを図りつつ楽器の魅力を伝えることの楽しさと達成感を体験しました。想定外の事態にも柔軟に対応する姿に、机上の学びとは異なる大きな学びがあったのではないかと感じています。博物館は「実物教育の場」とも言われますが、まさに学内に楽器ミュージアムが設置されているからこそ実践できた学びの形であると考えています。



## 附属高等学校東京都新校舎建築始まる

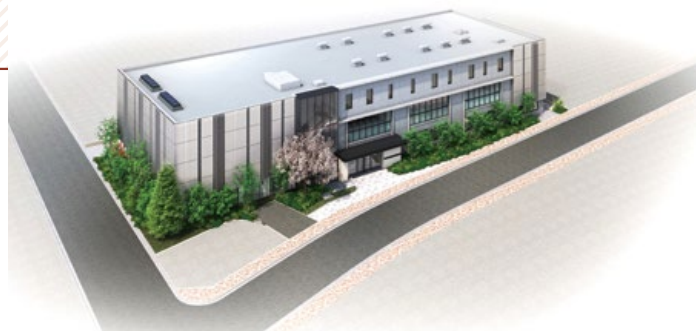
武蔵野音楽大学附属高等学校が、前号でも詳報させていただいたような埼玉県から東京都への移転計画（2027年4月開校予定）により、学生寮「むらさき寮」の跡地に新たな息吹を吹き込もうとしています。

1965年に竣工した「むらさき寮」は、長年にわたり学生たちの生活の拠点として大切な役割を果たしてきました。2017年には耐震改修工事も実施され、学生の安全を支えてきた建物でした。

2024年、同じく前号で特集した学生レジデンス「Flügel」（本誌表紙写真）の誕生と共に、「気づきと創造力をもたらす空間」を設計コンセプトとした附属高校新校舎建築プロジェクトが目



東からの「むらさき寮」解体工事風景（2024年11月28日撮影）



2027年4月開校予定 附属高等学校新校舎外観  
（2025年2月現在計画パースイメージ）設計施工：（株）長谷工コーポレーション

見える形で進捗しました。同年3月末から始まった「むらさき寮」の解体作業は、慎重かつ丁寧に進められ、4月上旬からは本格的な解体工事が開始されました。まず内装の解体を行い、5月下旬からはコンクリート躯体の解体へと移行しました。

解体作業は、安全性と環境への配慮を最優先に進められ、12月末に全ての工事を無事故無災害で完了しました。約60年にわたり、多くの学生の青春の思い出を育ててきた「むらさき寮」は、その歴史的な役割を静かに終え、学園の新たな未来への道を開きました。

そして、ついに2027年4月の開校に向けて、本年1月からは新校舎建設工事が始まりました。長い歴史を持つ「むらさき寮」の跡地は、新たな教育の場として生まれ変わろうとしています。それは、多感で好奇心あふれた成長途上の表現者たちが、それぞれの夢に向かって感性を磨く場です。この変革は、武蔵野音楽大学附属高等学校の未来への力強い一歩となるでしょう。

## 東京都教育委員会と連携協力に関する協定を締結



締結式にて 武蔵野音楽大学 福井学長(左)と東京都教育委員会 坂本教育長(右)

2024年11月6日、本学は東京都教育委員会と連携協力に関する協定を締結しました。この協定により、今後本学では東京都公立中学校等の部活動の地域連携・地域移行の実現に向けた支援等を推進していきます。

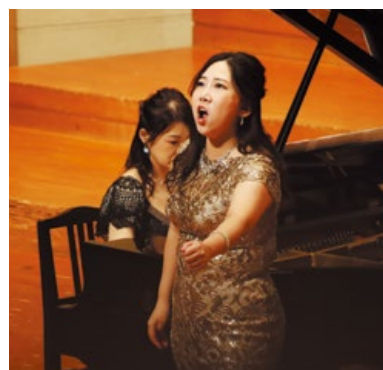
都庁で行われた協定締結式で福井直昭学長は「このたびの協定により、本学が音楽を通じた社会貢献に一層携わることができることを大変光栄に存じます。また、社会貢献の面だけにとどまらず、本学の学生にとっても実際の教育現場に携えることは実りの多い体験となることを確信しております。このような良い循環が機能するよう本学でも、努力を重ねていく所存です。」と述べました。

本学ではこれからも時代のニーズに応じた社会的貢献を続け、わが国の芸術文化発展・充実に寄与していきます。

## 第72回ミュージックフェスティバル開催

昨秋11月1日から3日までの3日間、テーマ「集まれ！～実る芸術の果実、ミュージックも心躍る祭典～」のもと、第72回ミュージックフェスティバルが開催されました。

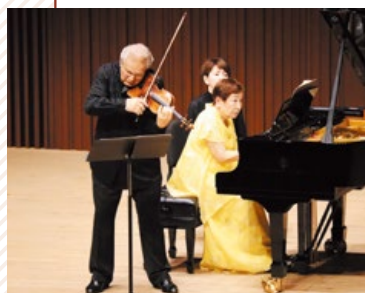
前日祭では、毎年好評の仮装ブラスバンドやオーケストラなど華やかなイベントが行われ、続く本祭では、各種アンサンブル、管弦楽団やフルートオーケストラの演奏、また本学教員による招待演奏が催されました。さらに、正課・課外活動の研究発表や展示により、学生たちは日頃の成果を紹介した他、模擬店が並びストロブラザにも連日多くの来場者が集い、それぞれの料理を楽しみつつ交流する姿が見られました。音楽に彩られた祭典は今回も盛会裡に終了しました。



招待演奏＝メゾソプラノ独唱：鳥谷尚子（本学教員）

## 大学主催演奏会(2024年5月～12月)

### ロバート・ダヴィドヴィッチ客員教授 ヴァイオリン・リサイタル



(開催日) 2024年5月23日(木)  
(会場) プラームスホール  
ピアノ=岡崎悦子(本学講師)

### ケマル・ゲキチ客員教授 ピアノ・リサイタル



(開催日) 2024年7月1日(月)  
(会場) ベートーヴェンホール

### 管弦楽団演奏会

指揮=和田一樹(本学講師)

#### PROGRAM

グリーグ:ピアノ協奏曲 イ短調 Op.16  
エルガー:交響曲 第1番 変イ長調 Op.55 他

#### 東京公演

(開催日) 2024年9月24日(火)  
(会場) 東京芸術劇場 コンサートホール  
ピアノ独奏=曾田美音(演奏学科ヴィルトゥオーゾコース3年)



#### 富山公演

(開催日) 2024年9月27日(金)  
(会場) オーバード・ホール 大ホール(富山市芸術文化ホール)  
ピアノ独奏=三友 優(演奏学科ヴィルトゥオーゾコース3年)



### ウィンドアンサンブル演奏会

指揮=ジェームズ・M. ランブレクト(本学客員教授)

#### 熊本公演

(開催日) 2024年7月6日(土)  
(会場) 熊本県立劇場 コンサートホール

#### 東京公演

(開催日) 2024年7月16日(火)  
(会場) 東京芸術劇場 コンサートホール

#### PROGRAM

ワーグナー:《ローエングリン》よりエルザの大聖堂への行列  
グレインジャー:デンマーク民謡組曲 他



### 武蔵野音楽大学コンコルディア奨学金 受給記念コンサート

### 土屋優子 ソプラノ・リサイタル

(開催日) 2024年10月3日(木)  
(会場) プラームスホール  
ピアノ=谷川瑠美(本学講師)



### 崔 文洙客員教授

### ヴァイオリン・コンサート&公開レッスン

(開催日) 2024年10月21日(月)  
(会場) プラームスホール  
ピアノ=イリヤ・イーティン(本学客員教授)



## 坂東玉三郎 特別招聘教授 公開講座

〔開催日〕 2024年11月5日(火)  
〔会場〕 プラームスホール



## イリヤ・イーティン客員教授 ピアノ・リサイタル

〔開催日〕 2024年11月20日(水)  
〔会場〕 プラームスホール



## 管弦楽団演奏会

指揮＝現田茂夫(客演指揮者)

〔開催日〕 2024年11月26日(火)  
〔会場〕 東京オペラシティ コンサートホール

### PROGRAM

ファリャ:バレエ音楽《三角帽子》全曲  
サン=サーンス:交響曲 第3番 ハ短調 Op.78「オルガン付き」



## アートマネジメントコース 企画制作公演

音を奏でる絵画 ～響き合う音と色彩の世界～

〔開催日〕 2024年12月6日(金)  
〔会場〕 プラームスホール



## 室内合唱団演奏会

### PROGRAM

ヘンデル:オラトリオ《メサイア》HMV56 より 他

### 東京公演

〔開催日〕 2024年12月3日(火)  
〔会場〕 ベートーヴェンホール  
指揮＝片山みゆき(本学講師)、佐藤洋人(本学講師)  
ピアノ＝齋藤誠二(本学研修員)



### 岡山公演(主催:武蔵野音楽大学同窓会岡山県支部)

〔開催日〕 2024年12月15日(日)  
〔会場〕 岡山芸術創造劇場ハレノワ 中劇場  
指揮＝藤井宏樹(本学客員教授)  
ピアノ＝齋藤誠二(本学研修員)



## ウィンドアンサンブル演奏会

指揮＝飯森範親(客演指揮者)

〔開催日〕 2024年12月9日(月)  
〔会場〕 ベートーヴェンホール

### PROGRAM

冷水乃栄流:脆性ノスタルジア(吹奏楽版 世界初演)  
J.マッキー:フローズン・カテドラル 他



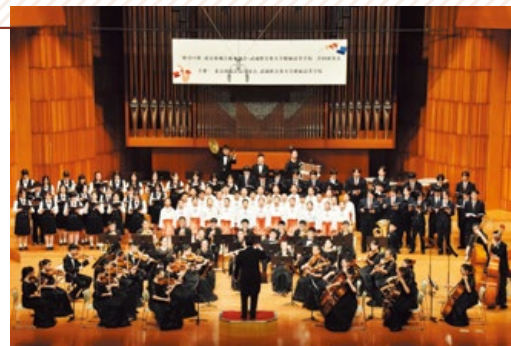
## 附属高等学校各種行事

「サマーアンサンブルコンサート(7/13)」「第28回在校生と卒業生によるコンサート(9/29)」「ミューズフェスティバル(学園祭) 附属高等学校コンサート(11/2)」がブラームスホールにおいて開催され、生徒たちは研鑽の成果を発表しました。また、北京荷風芸術基金会との合同演奏会(11/25)をパッハザールにて開催しました。生徒たちは同基金会に所属する児童約80名とともに演奏を披露し合い、最後には全員で第九“歓喜の歌”を演奏し、相互の交友を深めました。なお本演奏会の様子はTBS、NHK-BSで放映されました。



6月7日には入間キャンパス体育館でスポーツ大会を行い、多彩な競技が繰り広げられました。さらに11月20日～22日には2年生の修学旅行を実施しました。静岡ではヤマハの二つの楽器工場にてピアノと管楽器の製

造工程に深く触れ、京都・大原では日本の声楽の原点ともいえる声明しょうぎょうの体験などにより知見を得た一方、大阪のユニバーサル・スタジオ・ジャパンでは友人たちと楽しいひとときを過ごしました。



## 附属幼稚園各種行事

本学附属の第一、第二、武蔵野の各幼稚園では、春から秋にかけて多彩な行事が開催されました。園児たちは、遠足やおみせやさんごっこ、七夕の集い、運動会、お芋ほりなど、季節ごとのイベントを楽しみながら、豊かな体験を重ねました。第一・



第二幼稚園合同で行われた「えほんシネマの音楽祭」では、NHK「おかあさんといっしょ」の第16代うたのおねえさんである本学卒業生神崎ゆう子さんと、武蔵野音楽大学の現役学生たちが共演。

園児や未就園児の親子に、音楽と絵本が織りなす素晴らしい世界を届けました。



## 武蔵野音楽大学同窓会ウェブサイトリニューアルのお知らせ



このたび、武蔵野音楽大学同窓会のウェブサイトを更新しました。より見やすく、分かりやすく発信できるよう、デザインや構成を一新し、コンテンツの充実を図りました。サイト内には同窓会組織、支部活動報告、年会費納入について、事務局からのお知らせなどのメニューがあり、会員登録情報の変更(住所変更等)手続きもできます。また、大学のウェブサイト内の学生・卒業生の活躍、大学主催演奏会、大学説明会・オープンキャンパスなどのイベント情報にリンクされていて、より多くの情報を入手できるようになりました。ぜひご利用ください。

同窓会ウェブサイト [https://www.musashino-music.ac.jp/guide/alumni\\_association](https://www.musashino-music.ac.jp/guide/alumni_association)  
(大学ウェブサイトのトップページからも入れます)

同窓会ウェブサイト▶



## Musashino Topics

### ▶ 本学園理事長 福井直敬 各方面より表彰状授与

本学園理事長 福井直敬に、これまでの業績をたたえ東京都より「令和6年度東京都功労者表彰」(2024年10月1日)、公益財団法人日本高等教育評価機構より「創立20周年記念表彰」(2024年7月9日)が、また日本私立大学協会より協会の活動への永年にわたる功労に対し「感謝状」(2024年3月25日)が授与されました。

## 武蔵野音楽学園教育運営推進協力寄附金 ご寄附をいただいた方々

学校法人武蔵野音楽学園では、寄附金に対する税額控除制度の恩典が与えられたことに鑑み、教育環境整備基金、福井直秋記念奨学基金並びに演奏活動特別基金の拡充を目的とする寄附金を募集しましたところ、下記の方々よりご寄附をいただきました。ここにご芳名を掲載し、深く感謝の意を表します。

学校法人 武蔵野音楽学園

<b>同窓生</b>	石黒葉月様 石橋亜紀子様 青木国子様 家泉浩美様 石居和夫様 石居真知子様	打越孝裕様 宇留野 愛様 石渡保子様 伊藤征夫様 印南英里様 上田敬子様	川邊宣子様 久米敏子様 大藏美樹様 小川靖奏子様 金谷涼子様 金子朝子様	佐藤三津子様 嶋田晶子様 菅原充子様 瀬野健治様 滝口智子様 田口素子様	田中淑子様 佃 梓紗様 外岡久子様 中谷 勉様 永原美奈子様 中村俊輔様	中村裕子様 長柄弘道様 西田明美様 野見山佐知子様 林 秀樹様 兵頭光代様	廣瀬恵子様 深谷陽子様 堀江和夫様 三浦豊子様 水井恵美子様 光田明子様	宮下悠紀子様 宮之原厚子様 茂垣祥子様 森 友枝様 森岡 翠様 森田恵理様	森田久美子様 山口潤子様 山田 一様 吉田厚子様 米金康子様 頼 恭子様
------------	--	---	---	---	---	--	---	--	---

<b>在学生・在学生父母</b>	高桑枝実子様 中田巨人様 松崎泰資様 村松 薫様
------------------	-----------------------------------

<b>役員・教職員・一般・他</b>	上原 明様 奥田 操様 小倉多美子様	片山みゆき様 岸田 譲様 古池 好様	高坂朋聖様 佐野悦郎様 重松 聡様	清水吉六様 須田 憲様 谷 友博様	塚田雄二様 寺本まり子様 中田淳子様	野村邦武様 原田知子様 日高正枝様	福井直敬様 堀田健介様 本庄 忍様	村上直行様 横地千鶴子様 由田真実様
--------------------	--------------------------	--------------------------	-------------------------	-------------------------	--------------------------	-------------------------	-------------------------	--------------------------

(他に匿名を希望される方26名)

※ご芳名(五十音順)は、2024年3月1日から2024年6月30日までにご寄附いただいた方々です。

それ以降の方々は、次号にて掲載させていただきます。また勝手ながら掲載区分は当方で決めさせていただきます。何とぞご了承ください。

※本学ウェブサイトからも、クレジットカード決済によりご寄附のお手続きができます。是非ご利用ください。

## 2025年3月から7月に開催の演奏会

3月13日(日) (13:00) 3月14日(月) (13:00)	令和6年度卒業演奏会	ベートーヴェンホール(江古田) 無料(全席自由・予約不要)
4月18日(金) (18:30)	令和6年度音楽学部卒業生新人演奏会	ブラームスホール(江古田) ¥1,000(全席自由)
5月10日(土) (14:00)	オハイオ州立大学ウィンドシンフォニー演奏会	ベートーヴェンホール(江古田) 無料(全席自由・要事前予約)
5月16日(金) (18:30)	令和6年度大学院修了生新人演奏会	ブラームスホール(江古田) ¥1,000(全席自由)
6月12日(日) (18:30)	ニュー・ストリーム・コンサート 55~ヴィルトウオーゾコース演奏会~	ブラームスホール(江古田) 無料(全席自由・要事前予約)
6月13日(日) (18:30)	ニュー・ストリーム・コンサート 56~ヴィルトウオーゾコース演奏会~	ブラームスホール(江古田) 無料(全席自由・要事前予約)
6月27日(日) (18:30)	ケマル・ゲキチ客員教授 ピアノ・リサイタル	ベートーヴェンホール(江古田) ¥2,000(全席自由)
7月15日(日) (18:30)	ウィンドアンサンブル演奏会 指揮=テリー・オースティン客員教授	東京オペラシティ コンサートホール 一般 ¥1,500 小中高生 ¥1,000(全席指定)
7月17日(日) (18:30)		ウェスタ川越 一般 ¥1,500 小中高生 ¥1,000(全席自由)

※やむを得ない事情により、開催日時・出演者・曲目等を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※チケットは本学ウェブサイトより購入できます。

●お問合せ 演奏部 TEL. 03-3992-1120 ●武蔵野音楽大学ウェブサイト <https://www.musashino-music.ac.jp/>

## 2025年 オープンキャンパス、学校説明会&体験レッスン、 中高生のためのステップアップ・レッスン、指導者のための特別講座

オープンキャンパス		
開催日	主な実施内容	会場
3月23日(日)	ガイダンス(大学案内)、 附属高等学校説明会、 体験レッスン、学生によるコンサート、 キャンパスツアー、 体験授業、質問コーナー、 保護者説明会	武蔵野音楽大学 江古田 キャンパス
5月18日(日)		
6月15日(日)		
7月13日(日)		

中高生のためのステップアップ・レッスン、指導者のための特別講座		
開催日	内容	会場
2月16日(日)	管楽器・打楽器・弦楽器	武蔵野音楽大学 江古田 キャンパス
2月23日(日)	ピアノ・声楽	
2月23日(日)	声楽指導者のための特別講座	

※事前申し込みが必要です。詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。

※日程は変更となる場合があります。

【お問合せ】武蔵野音楽大学 入学センター TEL. 03-3992-2500

E-mail: nyugaku-c@musashino-music.ac.jp

学校説明会&体験レッスン		
開催日	開催地	会場
5月11日(日)	宮城県仙台市	カワイ仙台
5月11日(日)	愛知県名古屋市	名古屋音楽学校
5月25日(日)	北海道旭川市	旭川市民文化会館 小ホール
5月25日(日)	新潟県新潟市	ヤマハミュージック新潟店 ミュージックアペニュー新潟
6月 1日(日)	静岡県浜松市	ヤマハミュージック浜松店 ミュージックアペニュー浜松
6月 1日(日)	福岡県福岡市	アクロス福岡 イベントホール
6月 8日(日)	長野県長野市	長野市芸術館 リサイタルホール
6月 8日(日)	山口県山口市	KDDI 維新ホール メインホール
6月22日(日)	北海道札幌市	ガイダンス会場：六花亭札幌本店きたこぶしホール レッスン会場：ヤマハミュージック札幌店 ヤマハ札幌センター
6月22日(日)	福島県福島市	ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂) 小ホール
6月29日(日)	栃木県宇都宮市	宇都宮共和大学 宇都宮シティキャンパス
6月29日(日)	鹿児島県鹿児島市	LAGBAG MUSIC TOGO (東郷音楽学院)
7月 6日(日)	香川県観音寺市	ハイスタッフホール 小ホール
7月20日(日)	神奈川県横浜浜市	未定(ウェブサイトにてご確認ください)

## 2025年 春期受験講習会(大学・高校)

日程	会場
3月28日(日)~30日(日)	武蔵野音楽大学 江古田キャンパス

【要項請求】本学ウェブサイト内の「資料請求フォーム」からお申し込みいただくか、  
本学広報室(TEL.03-3992-1125)へお電話にてご請求ください。

【お問合せ】武蔵野音楽大学 入学センター TEL. 03-3992-2500 E-mail: nyugaku-c@musashino-music.ac.jp

武蔵野音楽大学ウェブサイト <https://www.musashino-music.ac.jp/>

# Contents Vol.146 2025

- 1 巻頭 特別対談 自分らしく、主体的に——“鏡ワールド”全開で掴んだ金メダル  
鏡 優翔(パリ五輪レスリング女子76kg級金メダリスト)×福井直昭学長
- 
- 7 卒業生インタビュー 武蔵野でのさまざまな出会いと経験を糧に  
加藤智浩 山口雅之
- 
- 9 音楽の万華鏡 「夜のトポス」としてのシンコペーション 稲田隆之
- 
- 楽器ミュージアムレター 学芸員課程履修学生による楽器ミュージアムイベント
- 
- 10 Musashino News 附属高等学校東京都新校舎建築始まる  
東京都教育委員会と連携協力に関する協定を締結  
第72回ミューズフェスティバル開催  
大学主催演奏会(2024年5月~12月)  
附属高等学校各種行事  
附属幼稚園各種行事  
武蔵野音楽大学同窓会ウェブサイトリニューアルのお知らせ
- Musashino Topics
- 
- 14 Campus Information 武蔵野音楽学園教育運営推進協力寄附金 ご寄附をいただいた方々  
2025年3月から7月に開催の演奏会  
オープンキャンパス  
学校説明会&体験レッスン  
中高生のためのステップアップ・レッスン、指導者のための特別講座  
2025年 春期受験講習会(大学・高校)

## 表紙の写真

昨年1月に竣工したばかりの本学学生レジデンス“Flügel”内にある食堂。中庭に面した開口部や天窓から自然光が差し込む開放的で明るい空間となっており、朝夕の食事時はもちろん、勉強やミーティングなど、さまざまな場面において学生同士の活発なコミュニケーションを促進する場として利用されています。



学校法人 **武蔵野音楽学園**

武蔵野音楽大学大学院  
博士前期課程・博士後期課程

武蔵野音楽大学  
武蔵野音楽大学別科  
武蔵野音楽大学附属高等学校  
武蔵野音楽大学第一幼稚園  
武蔵野音楽大学第二幼稚園  
武蔵野音楽大学武蔵野幼稚園  
附属音楽教室 江古田・入間・多摩

江古田キャンパス | 〒176-8521 東京都練馬区羽沢1丁目13-1  
TEL. 03-3992-1121(代表)

入間キャンパス | 〒358-8521 埼玉県入間市中神728  
TEL. 04-2932-2111(代表)

パルナソス多摩 | 〒206-0033 東京都多摩市落合5-7-1  
TEL. 042-389-0711(代表)

武蔵野音楽大学ウェブサイト <https://www.musashino-music.ac.jp/>

